

2024 4

旬のアートとギャラリーで出会う

# 春の注目展×100

春展ナビ+イベントガイド

春展  
NAVI

2024

# 月刊美術

No.583

Since 1975



三色すみれ 小杉小二郎

## ギャラリーためなが 京都

京都市東山区上堀詰町265-7

☎075(532)3001

11:00~19:00

<https://www.tamenaga.com>

## 桜満載

## -Merry Cherry Blossom-

3月20日(水・祝)~4月14日(日) 会期中無休

## 【出品作家】

江上里絵子 / 江川直也 / 大沢拓也 / 小津航  
 北川麻衣子 / 木下友梨香 / 菅原健彦 / 田口涼一  
 智内兄助 / 中比良真子 / 樋口新 / 山本大也 / 吉川民仁



江川直也 《夜桜》 80×100cm 岩絵具、高知麻紙



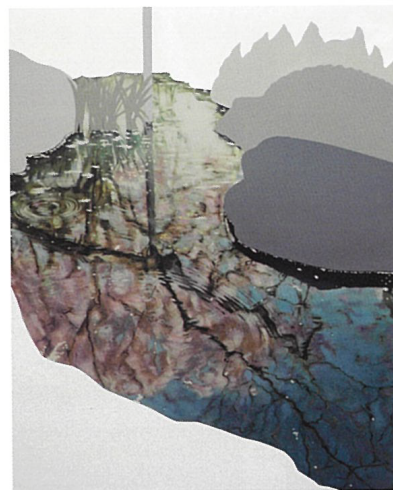
智内兄助 《櫻源郷》 114×146cm アクリル、和紙



菅原健彦 《三春》 50×100cm ブラチナ箔、松煙墨、岩絵具、和紙



木下友梨香 《サクラ》 53×65cm ペンキ、パネル

中比良真子 《The world turns over No.14》  
100×80cm 油彩、キャンバス13作家のアーティストで感じる  
京都の春の訪れ

京都の町家をリノベーションした  
 ギャラリーためなが京都を会場に、  
 「さくら」をテーマに13作家が新作  
 を発表する、昨年の好評を受けての  
 2度目となる展覧会。

グレーを基調に静謐な雪景を手掛け  
 る江川直也、水面に映し出された世  
 界など移ろいやすい一瞬の情景を描  
 く中比良真子、古木の幹から放たれ  
 る生命力を極めて独創性高い壮麗な  
 表現で描く菅原健彦、花農家で育つ  
 た生い立ちを元に幼少期に見た記憶  
 の中の花や植物を抽象表現した作品  
 を制作する木下友梨香など、実力作  
 家から新進気鋭までの約30点を展示  
 する。

京都の町をさくらが彩る時期、新  
 しい春の訪れをアーティストたちの  
 オリジナルの表現で触れて欲しい。

# 吉川民仁 —景色の声音—

3月30日(土)～4月21日(日) 会期中無休

ギャラリーためなが 大阪

大阪市中央区城見1-4-1

ホテルニューオータニ大阪1F

☎06(6949)3434

11:00～19:00

<https://www.tamenaga.com>

大阪

3月

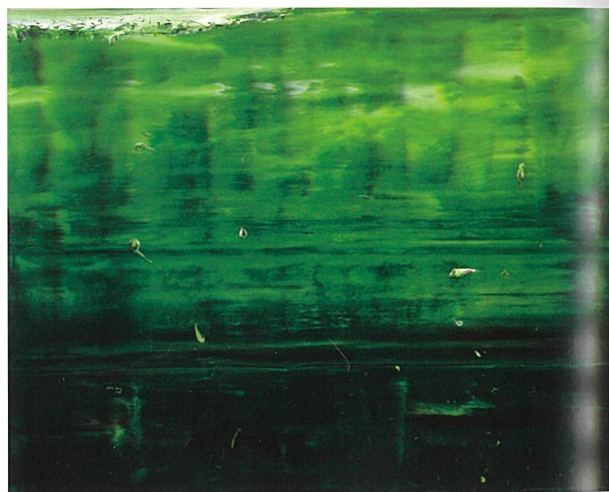
## 自然を映す、詩的な絵画空間



《花筏》 162×194cm 油彩



《花菜風》 131×162cm 油彩



《森の中の風》 131×162cm 油彩



よしかわ・たみひと

1965年千葉県生まれ。91年武蔵野美術大学大学院修士課程油絵コース修了。95文化庁芸術インターンシップ研修員。2022年ギャラリーためながパリので開催した展覧会で高い評価を得る。18年武蔵野美術大学教授。

桜の情緒、森を渡る風、湖畔の張りつめた空気と陽光のきらめきなど、四季折々の輝きを表現した作品を発表する吉川民仁。キャンバスに左官ごてで油絵具を塗り重ねた上からペインティング・ナイフで線描をほどこし、さらに少量の絵具を画面に投げつけることで平面性から脱した半立体的な実在感に独特の鑑賞体験をもたらす。

画家によれば絵具遊びが基本にあるという。そのひとつひとつは色と

粘度の組み合わせとキャンバスにかける力加減によって無限にありうる表現のなから選び取られた方法で、キャンバス上で色彩となり光となり、画家特有の硬質な絵画作品へと生まれ変わる。それは一瞬の情景を言葉で表すことで悠久の時間を詠み込む俳句のような、詩的な体験とも重なる。

※同展は銀座・ギャラリーためながにて開催中（3月24日まで）。